



9
2018/SEP
誠美保育園

百花繚乱

はなぐみ(2歳児)の部屋へ入ると、そこにはせつせとそれぞれの遊びに勤む、朝の子どもたちの世界がありました。百聞は一見にしかず：私がクラスを訪れた：たった2時間少しの間に、屋内外に、こんなにも咲き乱れたたぐさんの「遊び」の価値は、私の拙い言葉などでは伝わらない：そこで、その変化とバリエーションを、写真で追ってみましたので、ちょっと我が子を探すのを止め、画面の子ども的心情に思いを馳せてみてくださいね。

保育室にバランスよく散らばる担任たち。そこを抛り所に、気の向くまま、子どもたちの遊びが展開されていきます。それぞれに、ある程度の大人からの刺激や、アドバイスを得ながら、遊びを継続させ深めていく：この姿が2歳児なのだ



う心地よさを感じながら眺めていました。それでも、集団生活となると、いつも全員に応じ切れないジレンマもあるのですが、監視や介入もなく、うまく放っておかれることもまた、子ども同士の関わりやよき葛藤を産むためにも、大事なことのようには思います。来年度のかぜグループでの生活に向け、どこまで関わり、どこから放って置かれるのがよいのか、その塩梅が難しいところなのです。

何か「できる」前に、何かを「考える」力を育てたい。そのためには、見通しが持ちやすく、わかりやすい毎日でも大事だけれど、困らせない程度に迷わせる：2歳児なりのそんな場面も大事になる



るのかな、と考えるりもしました。そして、様々な見立て遊びやごっこ遊びに夢中になり、「つもり」の世界を精力的に生きていくのもこの時期で、保育室に



たら、そりやごっこ遊びも楽しいよなあ：この日もそれを実感したのでした。私たちの保育内容に終着点はないわけですが、保育者の手練手管の前に、まずは子どもたちのこの自発的で、

挑戦的で、多様な経験があれば、その育ちを後押ししてくれているような気もするのです。2歳児が、2歳児らしく生きることの価値：それを考えさせてもらえた時間でした。

園長 折井誠司



【百花繚乱】ひやつかりょうらん
いろいろの花が咲き乱れること。転じて、秀でた人物が多く出て、すぐれた立派な業績が一時期にたくさん現れること。

もそれを支えるための、様々な仕掛けが目にとまりました。「つもり」の世界では、興味深いことに、どんな子どもその役柄を模範的に演じようとしています。実生活ではまだ実践できなくても、周囲からは、どんな振る舞いが期待されているのかは、もうわかり始めているということ。「つもり」の世界で、客観的なもう一人の自分を育てながら、社会で生きていくための練習を始めているのです。それをさらにバックアップしているのが、この時期の爆発的な言葉の発達。ここまで言葉のやりとりができるようになってき



- 編集 誠美保育園
- 編集人 折井誠司
- 発行人 折井誠司
- 印刷所 誠美保育園
- 発行所 社会福祉法人 誠美福祉会

〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-1-2
電話 042-6975-1155
ファックス 042-677-5643
E-mail: sebi@nokuen.jp
http://nokuen.jp/